

=====

** 日本学術会議ニュース・メール ** No.561 ** 2016/9/16

=====

+++++

◇平成 28 年度日本学術会議中国・四国地区会議学術講演会

「農学的視点からの地方創生・活性化への挑戦」の開催について（ご案内）

◇平成 28 年度日本学術会議近畿地区会議学術講演会

「アフリカの進化と文化ーわれわれがアフリカから学ぶことー」

の開催について（ご案内）

◇共同主催国際会議の募集について（ご案内）

◇第 13 回「ヘルシー・ソサエティ賞」について（ご案内）

+++++

■-----

平成 28 年度日本学術会議中国・四国地区会議学術講演会

「農学的視点からの地方創生・活性化への挑戦」の開催について（ご案内）

-----■

◆日時：平成 28 年 10 月 8 日（土）13:00～17:10

◆場所：岡山大学金光ホール（岡山市北区津島中 1-1-1）

◆主催：日本学術会議中国・四国地区会議、岡山大学

◆後援：農業とその関連分野に係る産学官連携推進協議会

（農林水産省中国四国農政局、岡山県、JA 岡山中央会）、

NPO 法人中国四国農林水産・食品先進技術研究会

◆次第：

・開会挨拶

山本 洋子（日本学術会議連携会員、岡山大学副学長）

花木 啓祐（日本学術会議副会長・第三部会員、

東京大学大学院工学系研究科教授）

・講演

・「地方創生における農林水産業活性化の意義」

あべ俊子（衆議院議員、元農林水産副大臣）

・「地域おこし協力隊『ピオーネ女子』の活躍」

田井奈津美（岡山県新見市農林振興課主任）

・「赤磐市における地方創生について」

中村昌孝（岡山県赤磐市産業振興部政策監）

中野龍平（岡山大学農学部准教授）

・「笠岡諸島に魅せられて」

石井洋平（NPO 法人かさおか島づくり海社（笠岡市）事務局長）

・「岡山県における森林活用と地域創生への挑戦」

河崎弥生（岡山県農林水産総合センター森林研究所副所長）

- ・「農食資源が支える持続的地域の創成」

眞山滋志（吉備国際大学学長）

- ・閉会挨拶

吉田裕一（岡山大学農学部山陽圏フィールド科学センター長）

◆参加費：無料

◆お問い合わせ・参加申込先：岡山大学農学部総務担当

TEL:086-251-8282 FAX:086-251-8388

◆詳細はこちら

<http://www.sci.go.jp/ja/event/pdf2/232-s-1008.pdf>

■-----
平成 28 年度日本学術会議近畿地区会議学術講演会

「アフリカの進化と文化ーわれわれがアフリカから学ぶことー」
の開催について（ご案内）

-----■
◆日時：平成 28 年 10 月 15 日（土）13:00～17:00

◆場所：京都大学国際科学イノベーション棟シンポジウムホール
（京都市左京区吉田本町）

◆主催：日本学術会議近畿地区会議、京都大学

◆後援：公益財団法人日本学術協力財団

◆次第：

- ・開会挨拶

梶 茂樹（日本学術会議第一部会員・近畿地区会議代表幹事、
京都産業大学共通教育推進機構客員教授）

大西 隆（日本学術会議会長・第三部会員、豊橋技術科学大学学長、
東京大学名誉教授）

- ・講演

- ・「ゴリラから学んだ人類の進化」

山極 壽一（日本学術会議第二部会員、京都大学総長）

- ・「アフリカ大地溝帯の巨大湖に暮らす魚たち：社会進化のモデル生物」

幸田 正典（大阪市立大学大学院理学研究科教授）

- ・「20 世紀アフリカ文学の伝統」

宮本 正興（大阪外国語大学名誉教授・中部大学名誉教授）

- ・『「伝統衣装」のいまーケニア牧畜民のビーズ装飾を事例に』

中村 香子（京都大学アフリカ地域研究資料センター研究員）

- ・全体討論

司会 梶 茂樹

・ 閉会挨拶

伊藤 公雄（日本学術会議第一部会員、京都大学大学院文学研究科教授）

◆参加費：無料

◆参加申込：不要

◆お問い合わせ先：日本学術会議近畿地区会議事務局（京都大学内）

TEL:075-753-2270 FAX:075-753-2042

◆詳細はこちら

<http://www.scj.go.jp/ja/event/pdf2/232-s-1015.pdf>

■-----

共同主催国際会議の募集について（ご案内）

-----■

日本学術会議では昭和 28 年度以降、国内の学術研究団体が国内で開催する国際会議のうち、「学問的意義が高く」、「科学的諸問題の解決を促進する」等、特に重要と認められる国際会議について共同主催を行うことにより、学術研究団体への支援・協力を行っています。

この度、平成 31（2019）年度に開催される国際会議を対象に、平成 28 年 10 月 1 日（土）～11 月 30 日（水）まで共同主催の募集を行います。

詳細についてはこちらをご覧ください。

<http://www.scj.go.jp/ja/int/kaisai/entry.html>

※本件問い合わせ先

日本学術会議事務局 参事官（国際業務担当）付国際会議担当

（TEL：03-3403-5731 FAX：03-3403-1755 Mail：i254@scj.go.jp）

■-----

第 13 回「ヘルシー・ソサエティ賞」について（ご案内）

-----■

以下の賞について、推薦依頼がありましたためお知らせいたします。

会員・連携会員の皆様をご推薦できる賞ですので、ふさわしいと考えられる研究者がいらっしゃいましたら、ご推薦をお願いします。各賞の推薦要領につきましては、以下のホームページでご確認ください。

○第 13 回「ヘルシー・ソサエティ賞」：より健全な社会づくりを目指し、献身的に素晴らしい活動を行っている方を顕彰する目的で、平成 16 年に日本看護協会とジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループにより創設されました。

締切は平成 28 年（2016 年）11 月 4 日（金）Email または FAX 必着。

<http://www.healthysociety-sho.com/>

★-----☆

日本学術会議では、Twitter を用いて情報を発信しております。

アカウントは、@scj_info です。

日本学術会議広報の Twitter のページはこちらから

http://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://www.h4.dion.ne.jp/~jssf/text/doukousp/index.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できませんので、あらかじめご了承ください。本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34